

市長定例会見

2025年6月12日

1. もっと話そう「神戸」のこと
2. 元町駅周辺のリニューアルプラン検討に着手
3. 神戸空港にペロブスカイト太陽電池を設置
～全国初の実証実験～

もっと話そう「神戸」のこと

K  **B E**

持続可能な大都市を目指した取り組み

BE KOBE

新たな国際都市への進化



都心の再生



既成市街地・ニュータウンの再生



森林・里山の再生



まちの将来像を描く総合基本計画を検討中

未来に向けた声がたくさん寄せられています！ BE KOBE

これまでの取り組み

神戸をもっと知る



未来のことを直接語る



小中学生もGIGA端末で語る



市内各所で対話が広がっています！

BE KOBE

テーマ

人口減少、子育て支援、地域活性化、防災、文化財 など

さまざまなテーマで実施

参加者

小中学生、高校生、大学生から社会人、シニア世代

さまざまな世代が参加

対話フォーラム（大学生・高校生等）



子どもたちとの意見交換会（小中学生）



地域協働オープンミーティング



専門分野や特定テーマのフォーラムも開催

BE KOBE

神戸都市緑化国際フォーラム
(テーマ|都市の緑化)



ポートアイランドリボーンシンポジウム2025
(テーマ|ポートアイランドの活性化)



様々な人との対話を通じた 新たな「発想」や「気づき」

神戸のこと、もっと話ませんか？

BE KOBE

市民フォーラム

『もっと話そう「2035年の神戸」のこと』

日時 | 7月12日(土) 10時～12時

会場 | 神戸ポートオアシス

定員 | 400名

ほかにも多数の対話を実施！

5月～随時開催中、
計40回以上予定！

- ・講演、ワークショップ等での意見交換
- ・小中学生がGIGA端末を用いて意見投稿



今後も様々なテーマでフォーラム等を開催予定

「おでかけKOBE」に順次情報を掲載！

BE KOBE

KOBE

もっと話そう「神戸」のこと



もっと知りたい、もっと話したい神戸へ

元町駅周辺のリニューアルプラン検討に着手

元町駅のあゆみ

BE KOBE

1874年(明治7年)

三ノ宮駅 開業 (現在の元町駅付近)

1931年(昭和6年)

三ノ宮駅が現在の場所へ移転

1934年(昭和9年)

元町駅 開業 (現在の場所)

1936年(昭和11年)

阪神 元町駅 開業

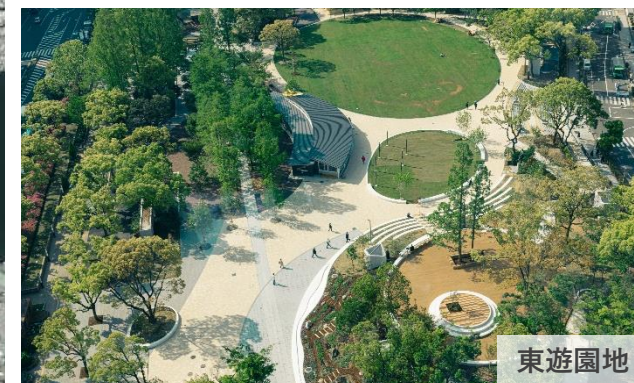
1946(昭和21)年頃の元町駅 (写真提供：芦屋市立美術館)



©ハナヤ勘兵衛

元町駅（都心エリアの中心に位置）

BE KOBE



変わる都心

BE KOBE

- 2015年 9 月 ● 神戸の都心の未来の姿 [将来ビジョン] 策定
- 2021年 4 ～10月 ● 神戸三宮阪急ビル・サンキタ通り・サンキタ広場
供用開始
- 2022年 8 月 ● 市役所 2 号館再整備事業者 選定
- 2023年 7 月 ● 新バスターミナル (I 期ビル)新築工事 着手
- 2024年 3 月 ● JR三ノ宮新駅ビル 起工式
- 2025年 1 月 ● 三宮駅周辺歩行者デッキ工事 着手
- 2025年 4 月 ● ジーライオンアリーナ神戸 開業
ウォーターフロントグランドデザイン 策定
- 2025年 6 月 ● **元町駅周辺のリニューアル検討 着手**



公共空間の再整備に向けたプランの検討

BE KOBE

検討対象エリア



元町駅

(主な課題)

- 駅とまちのつながりが不足
- バリアフリー化への対応



- 利用頻度の低いロータリー
- にぎわいに欠ける歩行者空間 など

JR 東口：JR西日本がバリアフリー化を決定



A 西明石・姫路 方面 for Nishi-Akashi, Himeji		
普通	15:42	西明石 2
普通	15:48	西明石 2
快速	15:52	姫路 2

A 三ノ宮・姫路・大塚 方面 for Sanjōmyō, Anagawa, Ōsaka		
Local	15:40	Kyoto 3
Local	15:48	Mitsuyama 3

JR 元町駅 東改札口
阪神本線・神戸高速線は地下へ

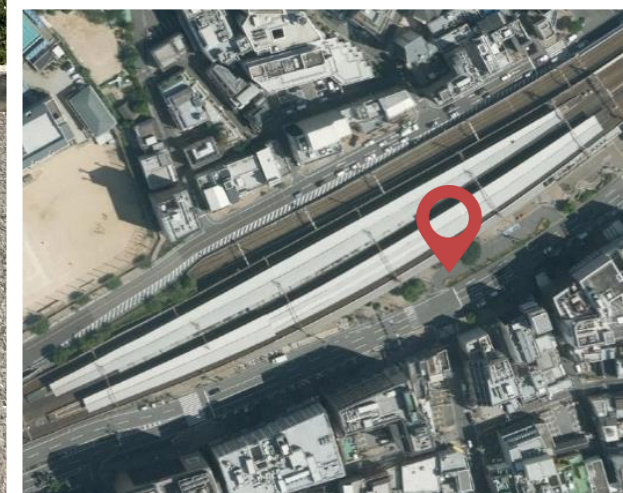
JR 元町駅
東口



周辺への回遊性向上



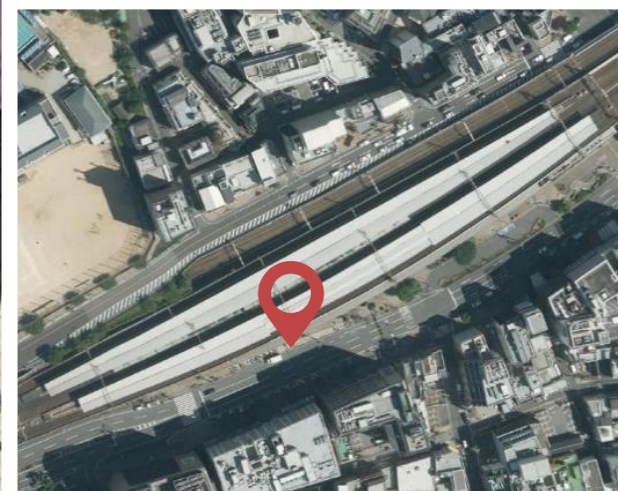
ロータリーのあり方検討



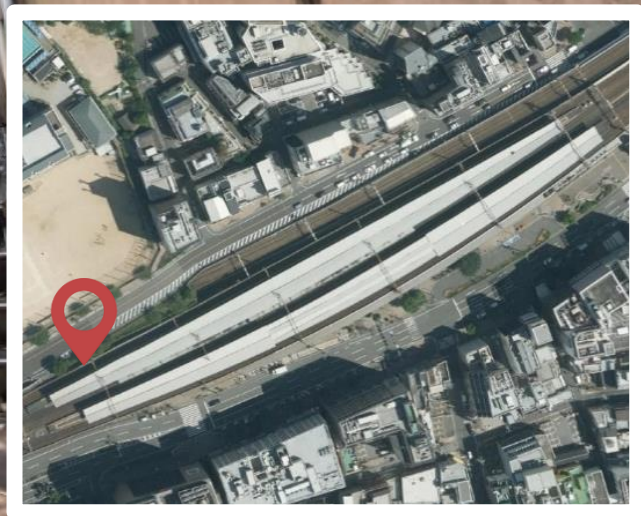
にぎわいのある歩行者空間へ



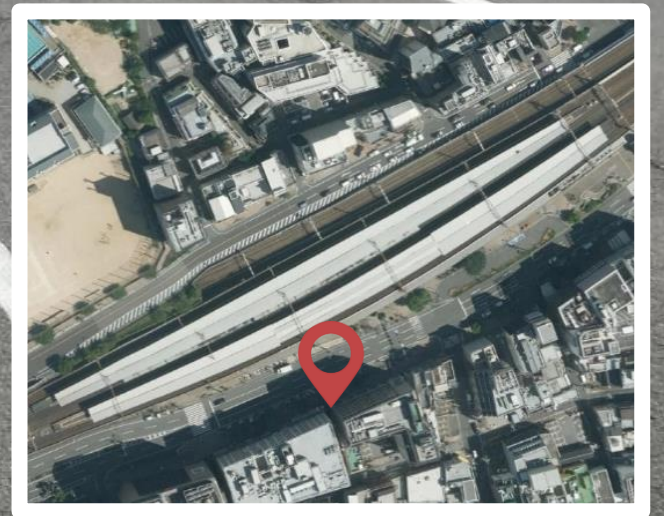
需要に応じた駐輪場へ



JR 西口 ～ 北側へのバリアフリー化



観光バス乗降場の本格運用



ワーキンググループで検討

- ・ 都心における位置づけ
- ・ 果たすべき役割
- ・ 目指すべきまちづくりの方向性
- ・ 高架下空間と広場との一体性 など検討

検討した意見を踏まえ
リニューアルプランを策定

JR各箇所の整備に合わせ
公共空間の設計・工事に着手



[ワーキンググループ (事務局：神戸市)]

地元まちづくり団体、学識経験者

※ オブザーバー参加：JR西日本、阪神電鉄、兵庫県

スケジュール

2025年夏頃～

ワークショップ 開催

2026年 秋頃

リニューアルプラン素案 策定

2026年度末頃

リニューアルプラン 策定

2027年度以降

順次設計・工事に着手

JR西日本の工事と連携

**神戸空港にペロブスカイト太陽電池を設置
～全国初の実証実験～**

市内の再生可能エネルギーの導入量

2024年度 | 338 MW (推計値)



2030年度 | 500 MW (目標値)

162MWが必要

※ 神戸市地球温暖化防止実行計画

[目標達成における課題]

近年の太陽光発電設備の導入が減少傾向

<主な原因>

- ・ **設置適地の減少**
- ・ FIT制度 (固定価格買取制度) の買取価格の低下
- ・ 工事費等の価格上昇 (物価高) など

再生可能エネルギー拡大へ、多様な場所に設置できる新技術を検討

概要

「脱炭素先行地域」にポートアイランドの一部地域が選定（2024年9月）

取組内容

地域内事業者への間接補助

補助対象 | 再エネ・省エネ設備
導入にかかる経費

実施期間 | 2025 ～ 2029 年度

総事業費 | 約 50億円

▶ 約 6 MWの導入量を目指す

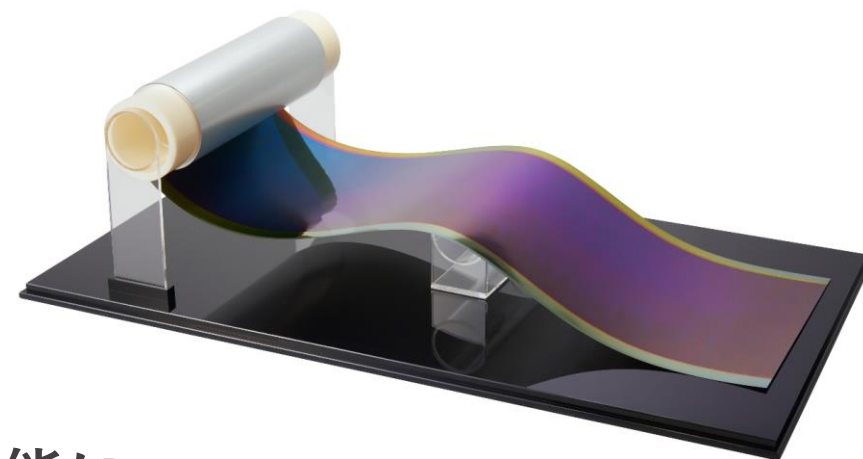
脱炭素先行地域のエリア



- ・原料（ヨウ素）の生産量は日本が世界シェアの約3割
- ・軽量かつ薄く柔軟で自由度の高い形状

壁面や曲面、
窓等へも設置可能

→ 従来では設置できなかった場所への設置が可能に



出典：積水化学工業

（従来のシリコン系太陽電池）

- ・原料等の大半は海外に依存
- ・重量があり、硬く形状が限られる

→ 性質上、設置場所に限界がある（平地や荷重に耐えられる屋根等）

神戸空港でペロブスカイトの実証実験を開始！ BE KOBE

概要

空港制限区域内で
全国初！

神戸空港を実証フィールドに
ペロブスカイト(太陽電池)を設置

< 取組内容 >

制限区域条件下における検証
(耐風性能、反射光の影響 など)

設置期間

2025年6月2日
～2027年3月31日



< 連携 >

SEKISUI

KANSAI
AIRPORTS
KOBE

実証実験の内容

ペロブスカイトの特徴として、
設置が困難な場所での導入が可能

➡ 場所ごとの条件に応じた検証が必要

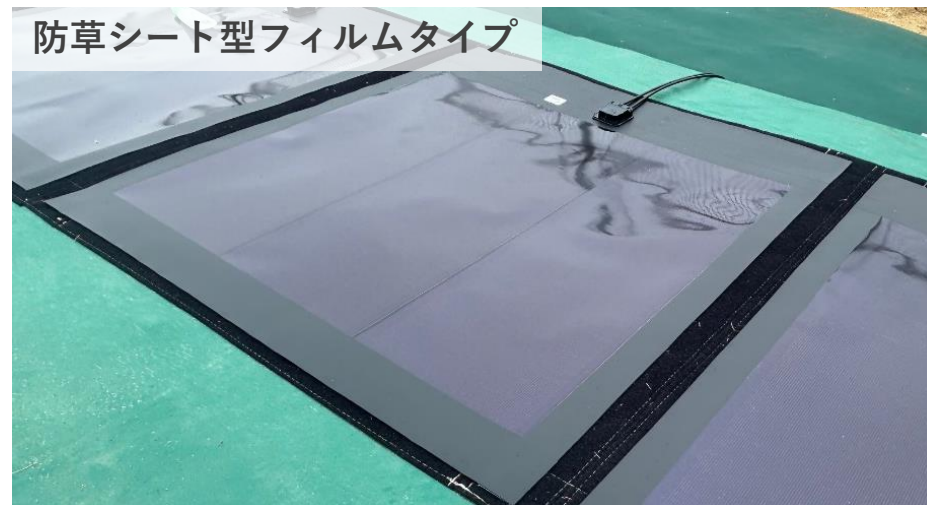
＜検証項目＞

- ・ 空港基準の耐風性能など安全性
- ・ 緑地帯における施工方法
- ・ 耐久性、発電効率

設置の様子（発電総面積 50m²）



防草シート型フィルムタイプ



実証実験での成果をもとに、全国的な展開へつなげていく